

## 【 Explanation or Guidance 】 説明・指導

## ひとくち英会話

- ◆ How much will the test cost?  
→ その検査は、費用はどのくらいかかりますか
- ◆ I think it will cost around 5,000 Yen.  
→ だいたい 5,000 円くらいだと思います。
- ◆ Please come back in a week.  
→ 1 週間後にまたおいでください。
- ◆ How long will the test take?  
→ その検査はどのくらい時間がかかりますか
- ◆ The blood test will take about 30 minutes.  
→ 血液検査は 30 分くらいかかります。
- ◆ When the tests are finished, please come back to the outpatient clinic.  
→ 検査が終了したら、外来に戻ってきてください。
- ◆ Do you feel your heart beating fast or irregularly?  
→ 脈が速くなったり、不整脈が出たりすることはありますか？
- ◆ Have you ever received any surgery or blood transfusion?  
→ 今まで手術を受けたり、輸血を受けたりしたことはありますか？
- ◆ How is your appetite?  
→ 食欲はいかがですか？
- ◆ Don't eat or drink anything for 8 hours before the test.  
→ 検査前 8 時間は何も口にしないで下さい。
- ◆ You need to take a laxative the night before the test.  
→ 検査前夜に下剤を服用してください。
- ◆ You'd better not to eat or drink anything for an hour.  
→ 1 時間は飲食しないでください。
- ◆ Please drink plenty of fluids.  
→ 水分を沢山とってくださいね。
- ◆ We think that you need this test for an accurate diagnosis.  
→ これは、正確な診断を行うために必要な検査です。
- ◆ We need your consent to perform this test for you.  
→ 検査を行うためには同意が必要です。
- ◆ Please read this form and give your signature here.  
→ この同意書をよく読んでここにサインしてください。

◆ 検査室でも患者さんに指導や説明が必要なときがありますね。こんなフレーズも有用かもしれません。【小松京子】

## 英語での communication について

## 第 3 回 AAMLS 学会に思う・・・

日本の英語教育は、中・高校時代の 6 年間で主体となっており、所謂受験英語の域を脱しない。最近では、それ以前の早期教育が増えているが、英会話となると話は別のような。

何故、近年英会話をはじめの人が増えているのか？英会話をはじめの人の動機は前向きなのに比べ、英会話が必要だという人は「話」ばかりが大げさで、要らない人には「要らないもの」にすぎないのであろう。

しかし、現在のビジネス社会や情報社会にとっては「英語は標準語」になっている。

一方、技術畑に生きる人には、それほど必要と思えないという人も多く「英会話」をある種の盾と感じているのも事実のようであるが、今や、ビジネス社会と同じく学会の標準語も英語になっているのも事実である。

外国人＝英会話という発想があるが、AAMLS 加盟国は、英語を母国語とはしていない国が殆どである。流暢に英語を話す IFBLS 会長・前会長も母国語は英語ではない。言語が異なる集団のコミュニケーションの手段は通常英語であるが、今回は殆ど全員が英語は second language であったわけである。

アジア各国の方々は、伝えようとする意欲が強く、英語が流暢でなくても話しかけてくる。日本人は、自信のあるかた以外は、多少話せるかたでも消極的である。謙虚であることが美德とされている国民性なのかもしれない。しかし、皆さん！学会場でさほど上手でない英語で一生懸命話かけてくる同業者に、悪感情は持たないですよ？

英語発表の際には「判りやすく」「が大切である」と考える。英語の力量の差はあっても所詮は母国語ではないので、外国人にとっては早すぎると聞きにくい。聴講者全員が英語ができるとは限らないことも考え合わせると、声は大きく、話しかたはややゆっくり、高度な文法を用いた文章は使わない、等の気使いが必要であらう。聞けなくても読める人は多い。スライドだけでも伝わるように構成すると良い。文章だけのスライドは大きな字で。図や写真を活用する。原稿を読む場合にはマイクの使い方注意し、顔はなるべく上げて欲しい。今回学会で口演された皆様にエールを送りたい。海外からも、英語での発表に対し大変好意的なメールが届いていることをお伝えする。今後も皆様と共に語学も含め、多くのことを学んでいきたいと考えた次第である。 【小松京子】